



8月	9月	10月	11月
10日 災害に強い水道の構築と経営改善のための調査特別委員会 総務委員会	25日 議会運営委員会、全員協議会 文教厚生委員会	22日 土浦・かすみがうら土地区画整理一部事務組合議会定例会 新治地方広域事務組合議員視察研修 湖北環境衛生組合議会定例会 湖北環境衛生組合議会定例会 茨城県市議会議長会定例会 議会だより編集特別委員会 産業建設委員会	4日 議会運営委員会、全員協議会 議会だより編集特別委員会 議会全体研修会



予算を伴う条例案とは？

歳出の原因となる条例案のことをいう。

地方公共団体の長は、条例その他の議会の議決を要すべき案件が新たに予算を伴うことになるものであるときは、必要な予算上の措置が適切に講ぜられる見込みが得られるまでの間は、これを議会に提出してはならないとされている。（地方自治法第222条第1項）

これは、財源の手当もないままに、条例等の制定により地方公共団体が義務費として財政上の負担を負うことになることは、地方公共団体における財政の計画的かつ健全な運営を阻害することになるので、このような条例等の議会への提出について規制を加えたものである。

（地方議会運営事典より抜粋）

平成23年

第4回定例会のお知らせ

かすみがうら市議会第4回定例会の会期日程（案）については、お知らせ版に掲載する予定です。

編集後記

東日本大震災から八ヶ月が経ちました。福島第一原発事故の影響は、今も色濃く各地に影を落としており、各地域では様々な対応策を模索しながら対処していることが新聞紙上に掲載されています。かすみがうら市でも民間企業や自治会が放射線量測定器を購入し、自分たちの目で線量を確かめ、安心を得ようと努めています。

今回の定例議会では、震災復旧関連事業として、市内小・中学校に放射線量測定器を各一台配備するための補正予算が可決されました。父兄が安心でき、子供たちが楽しく学べる環境づくりのために、有効に活用されることが期待されます。

期待といえば、今回新しく副市長が誕生しました。茨城県職員の経験を十二分に発揮され、かすみがうら市に新風を吹きこむことが期待されます。また、10月22日に市の16事業に対して第三者による「事業仕分け」が実施され、厳しい指摘と判定が下されました。結果に対する検証と見直しが行われることで、行政事業のさらなる向上が期待できます。

議会だよりは、議会の活動状況が市民の皆様にも広く、的確に伝わることを期待して発行しています。ご理解の上、ご意見をお寄せいただければ幸いです。

議会だより編集委員 川村 成二

ご意見をお寄せ下さい